



S 花論珈琲茶房 水だし珈琲 紹介映像

外販向けに新商品を開発、 動画で商品をアピールして 国内外に販売する

コロナ禍により店舗以外の売上を模索

2013年に1店舗目を開店し、藻岩本店を旗艦店に直営・フランチャイズ合わせて4店舗を運営する株式会社花論珈琲茶房。メニューでは特にコーヒーにこだわり、中でも「水出しコーヒー」は人気の品。ドリッパーやサイフォンなどを使う方法とは異なり、苦味やえぐみが出にくく、まろやかな飲み口になる。使用する水は吟味を重ね、羊蹄山からの吹き出し湧水を使用し、より口当たりの良さを追求している。

各店の運営は順調だったものの、コロナ禍により売上は前年比で2割も減った。ステイホームの掛け声のもと、外食を控えテイクアウトの需要が高まった。この変化に対応するため、店舗以外の販売チャネルを強化しようと自社商品の開発と販売が急務になった。そこで同社では、人気の水出しコーヒーを商品化。商品の良さをダイレクトに伝えるために、動画を使ったアピール方法を模索した。以前、店舗がロケーション先として登録されていたご縁から、本事業に申し込み、約3分間の動画制作に至った。

https://www.karon-cafe.com/coffeemovie_survey/



実際に使用する羊蹄山の伏流水が湧出する場所で商品を並べて撮影されたシーン

海外向けのバージョンも制作し成果へ

動画は札幌映像撮影コーディネーター認定のクリエイターが統括。京極町のふきだし公園をロケ地に撮影をし、約半年の編集期間を経て完成した。内容は、店舗の紹介からはじまり、羊蹄山の端正な姿を映し出し、丁寧なダブル焙煎の様子へと続く。北海道の豊かな自然を背景に、天然水と厳選豆をアピールするものになっている。海外向けに英語・中国語(繁体字)・ベトナム語へ翻訳したバージョンも制作した。オンラインでの商談では、台湾のバイヤーによるテスト販売につながった。2022年の12月までに、店舗での販売は500本、ネット通販では2,000本、海外への輸出は6,500本の目標を立てている。担当した木村昌子部長は「このコーヒーを含めた新しいカテゴリー全体で月に1店舗分くらいの売上をつくりたい」と今後の抱負を語る。



業務推進部 部長
木村 昌子

道内の消費者の感想を活かす

フリーペーパー「おしゃべりBOX neo」の2022年1月号で本商品のプレゼントキャンペーンを実施しました。多数の応募とアンケートが集まりましたので今後活かしていきたいと思っています。

プロモーション映像制作助成金



500ml、1本1,620円の瓶ボトルの水出しコーヒー



雰囲気の良いからウェディングにも利用される店内

株式会社 花論珈琲茶房

札幌市内に飲食店3ブランド 4店舗を展開する

静寂なロケーションの中、季節の移ろいを身近に感じながら静かな時間を過ごせるくつろぎの空間を提供する。

設立 平成25年1月
従業員数 30名
代表者 小竹 徹哉



札幌市中央区北5条西13丁目1-116 YN北5条ビル7階

TEL 011-876-9652
FAX 011-876-9653
<https://www.karon-cafe.com/>